

注進風土記事略○中

大松原中賀○

千松原犬子○

千草原略○中

梅原坂田○

小松原中賀○

右注進如件

元曆元年九月日

牧 駒牽辟入

名稱

牧ハ、マキト訓ズ、ウマキノ略ニテ、馬城ノ意ナリ、牧ノ字ハ、元ト支那ニテ養牛ノ人ヲ言ヘルガ、轉ジテ其地ヲ謂ヒ、再轉シテ養馬ノ地ヲモ謂フ、我邦亦牛馬放養ノ地ヲ汎ク牧ト稱セリ、凡ソ牧ニハ公設アリ、私設アリ、其公設ノ牧ニハ、牧監、別當、主當、牧長、牧帳、牧子等アリテ、飼養并ニ牧場ノ雜事ヲ掌ル、位部左右馬寮篇ハ、尙ホ官別當ノ事ニアリ、其私設ノモノニ至リテハ詳ナラズ、而シテ公設ノ中ニ勅旨牧アリ、延喜左右馬寮式ニ、甲斐、武藏、信濃、上野ノ四國、通計三十二牧ヲ掲ゲタリ、其飼養スル所ノ馬ハ、毎年八月朝廷ニ致ス、之ヲ駒牽ト云フ、射篇ニ八月駒牽ノ事ハ、武技部騎在リ參看スベシ、故ニ其飼養スル所ノ數モ亦多カリシガ、式例漸ク行ハレザルニ及ビテ、其所在ノ不明ナルモノアルニ至レリ、又官牧ノ諸國ニ散在セルモノハ、延喜兵部式ニ載セタレドモ、當時馬政宜シキヲ得ザリシカバ、著名ナルモノ甚ダ少シ、是ニ於テ、鎌倉幕府ニ至リテ、諸國ノ牧ヲ興行セシムルコトアリ、徳川幕府ニ至リテハ、小金原ノ牧場ヲ以テ公牧トセリ、又古昔ニ在リテハ、乳牛ヲ飼養スルニ牛牧アリシ事、延喜宮内式、典藥寮式ニ見エタリ、

〔倭名類聚抄一野〕牧 尚書云、萊夷爲牧、音目、孔安國云、萊夷地名可以放牧無萬岐、
〔箋注倭名類聚抄一野〕按、无万岐蓋馬城之義、今俗急呼万岐、說文、牧養牛人也、是此字本義、故左傳